

## 基本情報

---

施設名	クオリスキッズ港南中央保育園
所在地	横浜市港南区港南 5-2-9
電話番号	045-846-8177
評価年度	平成 29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

## 評価方法

---

自己評価	
(実施期間) 平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	職員に配布し、各自評価をしてもらい、期日までに回収。 集計を出し、職員会議で結果を公表し、課題を話し合い、まとめた。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 29 年 4 月 5 日 平成 29 年 4 月 6 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認及び園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行った。幼児の食事の観察を行い、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施した。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 28 年 12 月 5 日～ 平成 28 年 12 月 20 日	配布後、回収ボックスを設置し、期限までにボックスへ投函してもらった。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 29 年 4 月 5 日・6 日	0 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめた。

株式会社 R-CORPORATION

## 第三者評価結果報告書

《総括》	
対象事業所名	クオリスキッズ港南中央保育園
経営主体(法人等)	株式会社クオリス
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒233-0003 横浜市港南区港南 5-2-9
設立年月日	平成 25 年 4 月 1 日
評価実施期間	平成 29 年 4 月～29 年 7 月
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

### 総合評価

#### ●クオリスキッズ港南中央保育園の立地・概要

クオリスキッズ港南中央保育園は、地下鉄港南中央駅から南へ150m程度のところに位置しています。港南中央駅周辺は港南区の中心の地域にあたり、駅前には港南区役所、港南警察署、郵便局、港南水道局等、官公署が駅周辺に集中し、商業施設も充実が進み、利便性も良く、上大岡駅へも徒歩圏内の地域です。港南中央駅が面している鎌倉街道は交通量の多い主要な道路ですが、鎌倉街道から1本道を入ると住宅地が広がっており、クオリスキッズ港南中央保育園は閑静な丘陵地の住宅街に位置しています。近隣には南台小学校、笹下保育園があり、道沿いは桜並木になっており、春には桜が満開になり子どもたちの散歩コースにもなり、四季折々の季節を感じながら五感を育む環境が身近にあります。

クオリスキッズ港南中央保育園は保育園専用の2階建ての園舎であり、外観は住宅地に溶け込み、内装については法人代表のこだわりが随所に見られ、基調はアーティスティックな作りで、基本的に壁に貼り紙等を貼り出さないことにより明るく清潔な印象を醸し、玄関スペースはすっきりとした開放感があります。園舎は丘陵地の中腹にあり、保護者は電動自転車で通園される方が多く、駐車場は近隣に数台分を確保して保護者に配慮しています。園舎1階は、大きな保育室をパーテーションで仕切って3歳～5歳児の各保育室が設けられ、パーテーションを開放すると大きなホールに展開され、行事等で有効活用がされています。2階は0歳～2歳児の保育室になっており、屋外遊戯場やウッドデッキが設けられ、乳児クラスで活用し、子どもたちは体をいっぱい動かして楽しそうに遊んでいます。

#### ●クオリスキッズ港南中央保育園の保育の方針

クオリスキッズ港南中央保育園は、本社が大阪に位置する株式会社クオリス（以下、法人という）の経営です。法人は保育分野、介護分野、障害分野の事業を推進し、関西、関東で福祉サービスを展開し、発展ある会社です。保育分野は、東京で3園、横浜は4園を運営し、関西では3園展開しています。介護分野では、居宅・訪問事業所10施設を運営・実施し、経営方針に、「保育サービスを通じて、地域社会に貢献する」を掲げています。保育方針は、「豊かな人間性をもった子どもに育成すること」に据え、保育目標に3つの項目を

掲げ、1.「子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる行き届いた環境を提供する」、2.「人とのかかわりを大切にし、人に対する愛情と信頼感を育てる」、3.「自然や社会への興味や関心を育て喜んで話したり、聞いたりする」を展開して保育を進めています。また、通常のクラス活動・自由保育に加え、専任の専門講師による英語教室や、リトミック教室、体操教室、サントレ（幼児のための言葉の教育）を導入し、子どもの将来を見据え、幼児期に大切な「育み」に力を入れています。クオリスキッズ港南中央保育園では、遊びの中で伸び伸びと楽しく学習できるよう、子どもの負担にならないよう配慮しながら豊かな幼児期の“可能性”の推進に取り組んでいます。

## 《優れている点》

### 1. 音楽に包まれた保育の推進

クオリスキッズ港南中央保育園では、音楽に包まれた保育を大切にしています。「音楽」を生かした取り組みでは、体を動かしリズム感を育てるリトミック、遊びの中で音楽を楽しむ合奏（楽器）、リズム遊びの活動、“今月の歌”を決めて全園児が同じ歌を歌える取り組み等、音楽に包まれた保育園生活を推進しています。園では、音楽、歌に親しむだけではなく、幼児教育の1つと捉え、幼児期から楽器等を用い、音楽を全身で感じ、音感・リズム感・表現力を養い、バランスのとれた心身の発達を育み、音楽を通して子ども自身が自分を表現できる軸作りの一環に力を入れています。

### 2. 行事を大切にした保育

クオリスキッズ港南中央保育園は、「季節の行事」に力を入れて取り組んでいます。日本の伝統行事に加え、海外の伝統行事や、日本の季節折々の行事を保育に取り入れています。子どもたち、保護者や、近隣の子育て中の親子等にも一緒に楽しめ、思い出に残るような充実した行事を提供したいと取り組んでいます。そして、それぞれの行事がいつしかクオリスキッズ港南中央保育園の独自性のある定番行事につながっていくはずです。また、子どもたちに、日本の豊かな季節折々の伝統行事の意味合い、行事の習わしなどを伝え、毎年繰り返される行事の開催により、伝統は次代に受け継がれていきます。海外の伝統行事（ハロウィンやクリスマス等）の実施により、子どもたちは海外の文化、宗教、風習の違い等も学んでいます。子どもたちは、家庭で希薄になりがちな伝統行事をクオリスキッズ港南中央保育園で経験し、一人一人の子どもに思い出を刻んでいます。

### 3. スキンシップを大切にする保育

クオリスキッズ港南中央保育園の保育は、子どもとのスキンシップを大切に考えて保育にあたっています。スキンシップは人間の本能的な欲求であり、触れ合うことで愛情が交換され、自律神経もリラックスして安心感を得ます。クオリスキッズ港南中央保育園では0歳児から5歳児の子どもたちに保育士がスキンシップするよう常に心がけて保育にあたっています。乳児の場合はスキンシップにより、安心・安定・信頼関係を育み、年長児の分別ある子どももまだまだスキンシップを望み、特に不安を感じた時にはハグをしてあげたり、個々の喜びをスキンシップで共感する等、園ではスキンシップにより子どもと信頼関係を構築し、安定ある保育に努めています。

## 《さらなる期待がされる点》

### 1. 食育の強化の期待

開園5年目を迎え、今後さらに食育に力を入れて行く意向を示しています。園では、行事に力を入れ、行事を通して「食」に対する習慣も含めて食への関心につなげています。また、給食だよりを発行し、人気のあるレシピや、旬の食材と行事の関係を掲載して興味を促していますが、さらに、子どもが食材に触れる機会や、野菜作り（きゅうり、オクラ等）の栽培を通して、自分で育てた野菜、自分で収穫した野菜を調理する体験や、給食・おやつで食す等、食育活動の取り組みに期待されます。また、それ以上に都会の子どもに畑の経験は希薄であり、土に触れる良い経験にもなります。港南区は谷戸の多い地形で、まだ畑も残る地域性を活用し、地域との交流と併せて推進されることを望みます。

# 横浜市福祉サービス第三者評価結果

クオリスキッズ港南中央保育園	
評価年度	29年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

## 評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営理念である「保育サービスを通じて、地域社会に貢献する」を基本に、保育方針を「豊かな人間性をもった子どもに育成すること」に置いています。株式会社クオリス（以下、法人という）が運営する保育園では、経営理念および保育方針を根幹として保育を展開することを必ず順守することとし、保育方針に沿って園独自の保育を推進しています。一定期間ごとに保育マニュアルの読み合わせを行い、全職員が基本方針の理解の基、保育にあたるようにしています。また、園長、主任は、職員の意見を吸い上げ、年度初めにサービス内容の確認および見直しを実施し、年間指導計画の立案の際は、園の理念、保育目標の周知徹底を心がけています。</li> <li>●保育課程は、子どもの最善の利益を第一義とした経営理念および保育方針に沿って策定しています。保育課程の作成では、職員で検討の場を設け、家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して意見交換等を図っています。29年度から町内会に加入し、より地域の実態を把握して保育課程に反映させていく予定でいます。保護者に対しては、入園時や年度始めに年間行事予定と共に保育課程を配布し、説明しています。</li> <li>●保育課程に基づき、クラスごとに指導計画を作成しています。常に、子どもの興味や関心等を観察および状況把握を行い、職員間で共有し、保育内容の見直しや、計画に反映させるよう心掛けています。子どもに対しては、園目標（約束ごと）について毎週、月曜日の「朝の集会」（2歳児～5歳児）でわかりやすく説明し、</li> </ul>

今週の予定や行事を伝えています。また、運動会、生活発表会について子どもに意見を聞き、意向を取り上げる等、自主性や主体性を尊重しています。園では、月齢に応じて声かけに配慮し、日常の保育を通して子どもと密にかかわれるよう、少人数制の保育を心がけています。

### I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



●入園に先立ち、入園前面談を行い、事前に書類、児童票等に記入の上、個人面談を実施しています。必要に応じて入園後も個別面談を行っています。面談、書類等で得た情報は児童票に記録し、全職員で共有し、日々の保育に生かしています。個々の成育歴等の書類は個別にファイルを作成し、職員がいつでも閲覧できるようにしています。特に、障害を持つ子どもについては詳細に記録し、全職員が保育にあたるようにしています。

●短縮保育（ならし保育）を実施し、期間は原則2週間程度に定めていますが、個々の状況を見ながら臨機応変に対応しています。新入園児に対しては、パート職員も含め、同じ保育士が対応するよう配慮しています。在園児の配慮では、新入園児への配慮に偏ることがないように、他クラスの担当保育士もかかわるようにして配慮しています。また、異年齢保育を多く取り入れ、特に、4月は進級前の担任も含めて異年齢での散歩等も意識的に取り入れています。保護者への連絡は、0歳～2歳児は複写式の連絡ノートを活用して連絡を密にし、3歳児以上も連絡ノートがあり、口頭等でも子どもの様子を伝えるようにしています。

●指導計画は、個々の子どもの発達や状況に応じて柔軟に変更、見直しを図っています。クラスの指導計画、個人別指導計画の見直しは、週案レベルで対応し、定期的にクラスでの打合せを設け、必要に応じて職員全体会議でも課題に挙げて検討を図り、実践につなげています。指導計画の評価、改訂においては、複数の職員が参画して話し合いの上、作成しています。保護者からの意向・要望については、個人面談や日々の会話から意見を抽出し、指導計画に反映させるようにしています。

### I-3 快適な施設環境の確保



●施設環境について、掃除チェック表を基に毎日、全職員で各保育室の清掃、消毒を行い、清潔を保っています。また、週2回、全体掃除の時間を設定し、日頃、行き届かない箇所への掃除を実施しています。エアコンや換気扇も週1回、定期的に掃除を行い、必要に応じて業者の掃除を依頼しています。園舎内は24時間換気装置を設備し、随時、窓を開けて自然換気にも配慮しています。保育室は南向きであり、大きな窓からは陽光が十分に入り、明るさを十分確保し、各保育室に湿度、温度計を備え、設定温湿度を

定めて室内環境に配慮しています。音、声に関しては、保育者の声に留意し、近隣への保育中の音・声にも配慮に努め、運動会は南台小学校の体育館を借りて行っています。また、設定保育では子どもが集中できる場を作り、保育にメリハリをつけています。

- 沐浴設備は2階の乳児保育室に備え、温水シャワーは5ヶ所に設備しています。また、室内外にも温水シャワーを設置し、水遊び等、活用して子どもの清潔を心がけています。設備等は毎日、掃除・消毒を行い、週2回、チェックリストにて点検を実施しています。
- 低年齢児の保育室は、パーテーションや低い柵で仕切り、遊ぶ・食べる・寝る場所をそれぞれ確保し、活動に合わせて小集団保育が行えるよう工夫しています。異年齢での交流は、行事時や朝の集会、合同保育の際はパーテーションを開放して交流の場を設け、散歩や季節の行事、お誕生日会等で交流を行う機会を設定しています。お誕生日会では、お誕生日の子どもを前に、5歳児がお祝いの歌をプレゼントする等、皆でその子の誕生を祝っています。

**I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力**



- 3歳児未満の子どもおよび、特別な支援が必要な子どもについては、個別指導計画を策定しています。特に、特別な支援が必要な子どもについては、保護者との連携を密にし、必要な時に個別面談を行って要望等を聞き、情報共有を図りながら子どもの発達状況に応じて柔軟に変更・見直しを行っています。個別指導計画の重要部分（トイレトレーニング、歯磨き、箸の使用等）については、保護者と話し合いの上、家庭と連携して実施しています。
- 子どもの記録としては、定めた書式（児童票、個人面談記録、健康状況記録等）に記録し、記録内容は書庫に保管し、全職員が閲覧できるようにしています。重要な申し送り事項は記録し、進級時に職員間で申し送りおよび、話し合いを行っています。共有すべき内容は日々、職員共通の回覧板で共有を図っています。保育所児童保育要録は作成し、就学先の小学校に送付しています。

**I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み**



- クオリスキッズ港南中央保育園では、障害を持つ子どもを受け入れ、職員は、看護師による特別支援児（発達障害）に関する研修会を受け、発達障害に関する外部研修会にも参加して、研鑽に努めています。また、日々の職員間の打ち合わせにおいて、状況の詳細を共有し、気になる子どもについても昼会議時に話し合い、申し送りノートに記録を残しています。
- 障害児保育のための環境整備では、建物はバリアフリー対応を整え、園内にオスメイトのトイレ、テラスへのスロープ、エレベ

ーターの設備を施し、環境を整えています。特別支援児のいるクラスは職員を加配で配置し、障害児保育について看護師による研修会を実施して、知識と対応技術の研鑽を図っています。専門機関との連携では、特別支援児の保護者の同意の下、港南区役所の保健師や、港南地域療育センターと状況報告等で連携を図り、訪問および助言・指導を受けています。園では、日常的に他の子どもとの関わりの中で保育を進めています。

●虐待の定義については、保育マニュアルに定義、通告等の体制が記載され、全職員に周知しています。職員は、朝の受け入れの際や着替えの際に視診を心がけ、保護者の生活環境の変化を把握し、日々、子どもの様子に注意を払うよう努め、関係機関に相談できる体制を整え、定期的に港南区役所のケースワーカーと連携を図っています。家庭支援の必要な保護者については、職員から声をかけるよう心がけています。

●アレルギー疾患のある子どもの除去食対応では、医師の指示書に従って適切な対応を行っています。職員に対して、アレルギー疾患についての必要な知識や情報について周知し、全アレルギー児の疾患について一覧表を作成し、会議等で徹底するようにしています。アレルギー児を持つ保護者とは入園時に看護師、栄養士、担任と十分に面談を行い、連携を密にし、除去食を提供しています。給食時は、専用トレイを用い、コンタミネーションが起らないよう、口頭、書面でチェック体制を強化しています。

●文化が異なる子どもへの対応については、今年度は、外国籍の子どもは在籍していませんが、在籍時には入園時や日常で密に情報を共有し、生活習慣等も十分に確認し、文化や生活習慣、考え方の違いを尊重しています。外国籍に係わる保護者・子どもについて、意思疎通が困難な場合は、ジェスチャーや絵カードを活用してコミュニケーションの工夫をしています。

## I-6 苦情解決体制



●保護者からの苦情などに関して、重要事項説明書に苦情・相談の窓口担当者、港南区役所相談窓口を明示し、第三者委員に直接苦情を申し立てることができることをお知らせしています。また、要望や意見等を聞く機会として、意見箱を設置し、懇談会や行事後にアンケートを実施し、利用者満足に取り組んでいます。

●苦情・要望があった場合は、苦情対応マニュアルに沿い、第三者委員を交えて解決する体制を整えています。苦情等については職員会議等で周知し、記録は保管および蓄積し、今後に役立てています。保護者が意見を表明し難い場合は、連絡ノートを活用してもらい、行事後等、意見をいただいています。



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容 [遊び]</p> 	<p>●玩具等は、各年齢、発達に応じた玩具を整え、玩具棚を設け、子どもが自由に取り出して遊べるようにしています。活動に応じて保育室にコーナーを設定し、子どもが落ち着いて遊びに集中できる環境作りを行い、個々に好きなことをして遊ぶ自由遊びの時間と、設定保育の時間等、メリハリをつけた保育を行っています。また、玩具の種類により、机上や床など遊びの場所を分け、一人一人が遊び込めるスペースを確保しています。1日のプログラムでは、午前中は一斉保育を行い、午後は自由保育にできるように設定し、個々に十分遊べる時間を確保するようにしています。</p> <p>●朝夕の合同の時間は自由遊びの時間とし、遊びではブロック、おままごと、積み木等で遊び、4歳、5歳児ではLaQ等も取り入れて楽しく遊んでいます。一斉保育では、発達に合わせてルールのある遊びを取り入れ、「お店屋さんごっこ」等を皆で一緒に遊べるようにしています。ゲームで遊ぶ前には、子どもたちに約束事やルールの大切さを話し、ルールを守って遊ぶ楽しさを伝えています。</p> <p>●栽培では、園庭で花（パンジー、りんどう、サルビア等）を育て、年長児が当番を決めて水やりを行い、生長を観察しています。きれいに咲いた花は、テーブルに飾って鑑賞しています。飼育では、カブト虫の幼虫を飼育し、散歩の道中にカマキリやバッタを採り、園で成長を観察しています。散歩や園外保育を通して、地域の方と行き交う際は職員が率先して挨拶をするようにし、公園等で他園児や地域の方と交流を図っています。公園では、花や虫など自然の動植物に触れ、興味・関心を深め、公園で松ぼっくりや、どんぐり、落ち葉などを持ち帰り、季節の作品製作に活用しています。</p> <p>●自由に自分の気持ちを表現できるよう、専門講師による英語教室や、リトミック、体操教室を保育に導入し、子どもの発達に応じた遊びを体験する場を設けています。園では各部屋にピアノを設置しており、音楽に合わせて体で自由に表現したり、楽器でリズム遊びを楽しんでいます。また、年齢に合った素材や、らくがき帳、粘土、ぬり絵等を揃え、子どもが自由に使えるようにしています。3歳児、4歳児、5歳児は個人のロッカーにクレヨン等を保有し、2歳児以下は皆で使う分を用意し、子ども一人一人が自由に表現できるように支援しています。</p> <p>●子ども同士のケンカの場合は、保育士はケガにつながらないように見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助しています。</p>

す。異年齢の子ども同士のかかわりについては、幼児が乳児クラスを訪問し、小さい子の着替えや食事の手伝いをする機会や、散歩に異年齢で行く機会を設けています。職員は、定期的に自己評価を行い、自分の保育を振り返る機会を持ち、保育マニュアルに園長の指導方針として「やさしい先生でいられるよう」が記載されており、職員は心がけて保育にあたっています。

●健康増進の工夫では、天気の良い日は朝夕、園庭に出て子どもたちは体を動かし、天候に応じて毎日、お散歩に出かけています。発達段階に応じて運動能力が高められるよう、体操教室や、サッカー教室を取り入れ、雨天の日は室内でマット運動等で体を動かす等、体力作りを行っています。子どもの健康状態は、その日の登園の健康状態を把握し、既往歴に配慮して遊びを選択する等、室内遊びや安静に過ごせるようにしています。戸外遊びの紫外線対策では、たれ付き帽子を着用し、紫外線アレルギーを持つ児には長そでシャツを着用するなど配慮しています。

## Ⅱ-1 保育内容 [生活]



●食事については、1 テーブルに4人が座り、家庭的な雰囲気の中で食事を楽しく摂り、個々の食べられる量を把握して完食ができるよう配慮しています。好き嫌いについては、無理強いをせず、苦手な食材は減らすように配慮し、体調等を考慮しながら子どもと相談しながら進めています。食事時間については、目安時間を伝えていますが、食事が遅い場合は急かすことのないようにしています。乳児では、連絡ノート等で家庭での食事（授乳）時間や、ペースを把握し、授乳では家庭での授乳間隔に合わせ、離乳食は、子どものペースに合わせて行い、自分で食べたいという意欲を尊重しています。

●食事までの過程に関心が持てるよう、園内探索を行い、給食室の調理の場面を見学する機会を設けたり、幼児クラスでは当番活動を通して、配膳や片づけを行っています。月1回、調理保育を実施し、食材や食事への興味・関心につなげ、厨房が保育室に近く、給食のできる匂いや、調理する職員の姿を見ることにより食事を豊かにする要因となっています。

●献立は、季節感のある食材を取り入れ、食材は地元から仕入れて提供し、行事食や誕生会などでの特別メニューは子どもたちも楽しみにしています。食事では、花をテーブルに飾る等、楽しい食事の雰囲気を心がけ、食前に読む絵本も多数取り揃え、食事が楽しみとなるよう工夫しています。時には園庭で食事をする等、場所を変えて楽しく食べられるように配慮しています。食器は硬質磁器を使用していますが、安全を考慮して2歳未満まではメラミン製を採用しています。食具は年齢、用途に応じて数種類揃え、

お箸は強要していませんが、3歳児からはお箸、フォーク、スプーンを置くようにしています。

●子どもの喫食状況は、毎日、喫食状況表に全クラスの状況を記入し、昼の会議時にその日の喫食状況を担任と栄養士で確認し、給食会議でも話し合い、献立の改善点や、調理法などの改善に努めています。栄養士は給食時に食事の介助に入り、子どもの様子を観察して残食量、喫食状況を確認しています。

●献立表は、保護者に月初めに給食だよりと共に配布し、献立表には子どもの人気のメニューや、季節のメニューを紹介し、保護者が毎日の献立に興味を持てるように工夫しています。給食だよりには、献立作成のポイントや、人気レシピの紹介を掲載しています。アレルギー児には個別の献立を作成して渡しています。離乳食については、早めに献立表を保護者に配布し、食べたことのない食材については家庭で事前に食してもらってから提供するようにしています。乳児クラスでは、今後、給食の試食（含む離乳食）の機会を設けていく予定でいます。

●午睡については、昼食や遊びからスムーズに午睡へ導入できるよう、寝る前に読み聞かせをしたり、オルゴールのCDを流す等、室内の採光に配慮し、落ち着いて心地良く眠れるよう環境を整えています。眠れない子どもには保育士の近くで横になり、休息を促しています。SIDSの予防では、乳児は5分ごと、幼児は10分ごとにタイマーにてブレスチェックを行っています。5歳児は、様子を見ながら午睡の時間を徐々に短くし、年明け頃から自由遊びで静かに過ごす等、就学に向けて午睡をなくすようにしています。乳児は、発達に応じて午前寝を取り入れ、早めの食事、午睡を行う等、配慮しています。


●トイレトレーニングについては、2歳後半くらいから保護者と相談の上、個人差を尊重し、家庭と連携して無理強いないよう個々に進めています。トレーニング中の排泄状況は、申し送り表を活用して職員間で共有し、降園時に保護者にも伝えて家庭と連携しています。排泄に失敗した際は、子どもの羞恥心に配慮するよう心掛け、さりげない対応に努め、シャワーを活用して気持ち良く過ごせるようにしています。


## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



●健康管理では、感染症マニュアルの中に記載され、入園時の児童票の情報は個別ファイルに綴じ、全職員で子どもの既往症を把握し、保護者と密に連携を図るようにしています。日常の子どもの健康状態は送迎時に保護者に伝え、職員間で伝達および情報共有をしています。保育士は常に子どもの様子を観察し、緊急時は速やかに保護者に連絡し、感染症が疑われる場合は受診を勧めて

	<p>います。歯磨きについては、3歳児以上に歯磨き指導を実施し、昼食後は危険のないよう席に座って歯磨きするよう指導しています。</p> <p>●内科健診（年2回）、歯科健診、身体測定は事前に予定表に明示して保護者に配布し、健診結果は児童票に記録し、結果は保護者に伝えています。嘱託医、歯科医とは連携を図り、歯科指導では歯科医に相談しながら看護師が指導を行っています。</p> <p>●感染症等について、感染症に関するマニュアルを備え、登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応は、入園の手引きに記載し、保護者に説明しています。保育中に発症した場合は、37.5℃を目安に保護者に連絡し、脱水状態にならないよう事務室で対応しています。感染症が発生した場合は、園内での感染症蔓延に注意し、注意喚起の掲示をしています。地域、最新の感染症情報は、行政や地域等から入手し、職員間で情報を共有し、保護者にも啓蒙しています。</p>
--	--

<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>●衛生管理マニュアルは、縮小に印刷したものを職員に配付し、いつでも確認できるようにしています。また、定期的に見直しを行い、それに沿って研修も実施しています。さらに、看護師が中心になって実践研修（嘔吐処理）も定期的に行っています。清掃は、毎日の全職員で実施し、週2回は全体清掃を実施する等、清掃・衛生管理に力を入れています。</p>
--	--

<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>●安全管理では、低い家具を採用し、備品等の安全対策を講じ、転倒防止を行っています。緊急時対応マニュアルを整備し、職員に周知しています。毎月、様々な想定避難訓練を実施し、自衛消防組織図に基づいて実践し、全職員はベビーアン（乳児心肺蘇生法トレーニングマネキン）を使って、救命救急法を身に付け、緊急時に備えています。</p> <p>●救急機関、医療機関の連絡先一覧のリストを整え、港南警察署、港南消防署と連携を図り、緊急連絡体制を整えています。災害時の保護者への連絡については、NTTの災害伝言ダイヤルを活用します。また、各家庭のかかりつけ医も児童票にファイルして緊急時に備えています。保育中のケガ等が想定される場合は、ヒヤリハット記録簿に記録し、全体会議で周知し、再発防止に努めています。子どもの事故やケガについては、ケガの部位、軽重にかかわらず必ず保護者に連絡を行い、首から上のケガは必ず通院してもらい、業務日誌に記録しています。</p> <p>●外部からの侵入に対して、年1回、不審者侵入を想定して不審</p>
---	--

者対応訓練を実施しています。園舎は非常通報装置を設置しており、非常時は110番につながるようになっており、安全を確保しています。玄関はセキュリティシステムを活用し、カードキー以外は入室できない構造であり、門扉は登降園の時間以外は施錠しています。不審者情報は、横浜市、港南区役所等からメールで入手し、情報を得ています。

### II-3 人権の尊重



●職員の言葉遣い、子どもとのかかわりについて、昼の打合せ時に日頃から話し合い、特に、新人職員の場合は注意するようにしています。定期的に保育マニュアルの読み合わせを行い、子どもの呼び方や叱り方、かかわり方等を確認し合い、全職員で共通認識を図っています。子どもとのかかわり方については、園内研修や外部研修を受講し、人権尊重について学び、人権を考える機会を設け、人権擁護の研修にも参加して研鑽しています。

●友達や保育士の視線を意識せず、1対1で話せる場所としては廊下、ランチルーム、相談室、事務室があり、必要に応じて子どもと落ち着いて話す場として利用しています。日常保育の場面ではコーナー保育等を活用し、子どもが落ち着いて遊べる空間作りを行い、保育士の視線を感じないように配慮しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、厚労省（平成26年3月）の個人情報保護のガイドラインやマニュアル等を整備し、全職員（ボランティア・実習生含む）に周知し、共通認識を図っています。保護者に対しては、年度初めに個人情報の取り扱い（肖像権等）の確認を行い、同意を得ています。個人情報が記載されている文書・記録は、施錠できる棚に保管、管理し、園外への持ち出しを禁止にしています。また、個人情報の記載されている書類は全てシュレッダーで廃棄しています。

●性差に関する配慮では、全園児が平等に活動できるよう、遊びや行事の役割、持ち物や服装での区別、順番、グループ分けや整列も性別で分けず、遊びや役割等については子どもたちの意見を尊重しています。子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現をしないよう努めています。また、無意識に性差による固定観念で保育をしないよう互いに注意し合っています。


### II-4 保護者との交流・連携




●基本方針・保育目標は、園のしおり、パンフレット、ホームページに掲載して伝え、保護者に対しては年度の始めに、重要事項説明書に沿って説明し、同意を得ています。また、クラスだより、園だよりでも園の基本方針を伝え、日常保育を通して連絡ノートなどでも保育方針等が理解されるよう努力しています。

	<p>●園生活での様子や活動内容は、連絡ノートを活用して伝え、その日の子どもの様子は主に、降園時に口頭で伝えていきます。保護者との連絡、伝達事項は、職員間で情報を共有し、連絡ノートできめ細かに連絡するように努めています。</p> <p>●個人面談は定期的に全保護者に実施し、保護者懇談会は年2回行い、意向等を把握しています。また、必要に応じて、希望者にはいつでも対応できる体制を整えています。保護者の相談については、相談室を使用し、プライバシーを確保できるように配慮しています。相談は担当保育士の他、園長または主任が同席するようにし、適切に対応できるよう体制を整えています。</p> <p>●園生活に関する情報は、園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりを発行し、その日の保育については連絡ノート、各クラスのホワイトボードで知らせています。年度始めの懇談会では、園の保育課程や年間行事予定表を配布し、詳しく説明を行い、ビデオや写真を活用して保育内容、行事での様子などを伝えています。</p> <p>●保護者の保育参加・参観については、年度初めに年間行事予定表を配布し、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。保育参加・参観は随時、受け付け、28年は11月に実施し、リトミックを参観してもらいました。保育参観や保護者会等に出席できなかった保護者に対しては、内容をまとめた資料を渡して伝えています。</p> <p>●保護者の自主的組織は現状、保護者から希望や要請を受けていないので設けていません。園主催の運営委員会では各クラスの保護者代表が出席し、意見を聞き、卒園式の打合せ等には場所の提供をしています。園長は、積極的に保護者とコミュニケーションをとり、意見交換がしやすい雰囲気作りや、環境作りに努めています。</p>
--	---


### 評価領域 III 地域支援機能評価領域


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<p>●地域住民との交流では、港南区の冬フェスタ（スポーツセンターで実施）に参加し、地域のニーズを把握するようにしています。幼保小連絡会では年長児と地域の他園と交流を図り、港南区のマラソン大会には地区の保育園の園児が集まって参加し、交流しています。また、園見学や一時保育を通して、保護者に要望等を聞いています。地域の町内とは、在園児の家族が町内会の方であったことから町内会への加入に至り、今後さらに、地域のニーズを把握する意向でいます。</p>


	<p>●地域の子育て支援では、地域の子育て親子に向けた港南区主催の冬フェスティバルに参加し、子育てブースでは子育て相談に協力し、年長児交流では地域の保育園と協働で実施しています。子育て支援のニーズについては、主任を中心に園長、看護師などで話し合い、園では一時保育等を実施しており、日時等を案内しています。育児相談は、港南区の情報誌に掲載し、電話予約も受け付けています。</p>
--	--

<p>Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<p>●地域住民に対する園の情報提供では、港南区の子育て情報サイト、広報よこはま港南区版等に掲載して情報提供しています。相談事業については港南区の広報誌や、ホームページに子育て相談の案内、園の紹介を掲載し、育児相談に応じる旨を発信していますが、さらに、育児相談の定期的（相談曜日・時間）な活動が望まれます。</p> <p>●関係機関・団体等の連絡先リストを作成し、事務室に掲示し、職員で共有しています。関係機関（港南区こども家庭支援課・港南区の保健師・ケースワーカー・近隣小学校・子育て支援センター・よこはま港南地域療育センター・児童相談所・警察等）との担当は園長とし、戸塚区のケースワーカーが来園する等、連携を図っています。</p>
---	---


## 評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>●地域への園の理解促進のための取り組みとして、地域の町内会への加入を通して地域の行事等に参加し、園の行事にも町内会の方や、地域の方々の招待、一時保育利用者に案内をして行く予定でいます。小学校との交流では、運動会で小学校の体育館を借用し、港南区の冬フェスティバルでは園の体育機材等の貸し出しを行い、交流しています。幼保小連絡会を通じて各機関と積極的に連携を図り、友好的な関係作りに努めています。</p> <p>●子どもと地域との交流では、地域の文化施設（港南中央地区センター、桜道コミュニティハウス、港南中央地域ケアプラザ、港南区スポーツセンター等）を利用し、園外保育で地区センターなどへ出向き、地域の人たちと挨拶を交わし、交流を深めています。幼児は近所の商店へ食材を買いに行き、調理保育をする機会を設けています。また、近隣の保育園や幼稚園との活動や、小学校の行事などに参加し交流を図っています。</p>

<p>IV-2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、園のホームページやパンフレット、港南区の広報誌に園の詳細を掲載しています。横浜市の「ヨコハマはびねすぽっと」、ひまわり通信にも情報を提供しています。見学者や来園者には保育内容を記載したパンフレットを配付して説明し、職員体制・サービス内容の詳細、料金についても伝えています。</li> <li>●利用希望者からの電話問い合わせ等については、園長、主任、看護師が主に担当し、丁寧な対応に努めています。利用希望者には園見学を案内し、問い合わせ、その他の場合でも積極的に園見学を勧めています。秋の見学時で多い場合は、1日10人以下と人数を決め、見学者にもゆったりした中で園内を見てもらえるようにしています。</li> </ul>
--	--

<p>IV-3 ボランティア・ 実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティアの受け入れマニュアルを整え、職員に周知しています。受け入れと指導の担当者は主任と副主任とし、園の保育内容を説明し、しっかり面談を行い、記録を残しています。今年度は実績がありません。</li> <li>●実習生の受け入れでは、マニュアルを整備し、実習の前に面談を行い、基本方針、活動内容、利用者への配慮、留意事項を十分説明して理解を促しています。実習の期間中は、1日の終わりに日々面談と反省を行い、意見交換を行っています。最終日には実習生と園関係者と意見交換の機会を設け、園の運営の参考にしています。</li> </ul>
---	--

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必要な人材の採用については、法人本部と法人系列各園と共同で必要な要因を話し合い、採用計画を練り、保育所の理念を踏まえた保育を実施できるよう人材を確保しています。人材育成については、法人で教育計画を策定し、計画に沿って園で教育研修の実施に取り組み、毎年、職員の目標を設定し、保育の振り返り、目標の達成状況を面談で確認し、評価を行い、職員の資質向上を図っています。</li> <li>●職員、非常勤職員の研修体制については、毎月、園内研修を実施し、非常勤職員も含めて職員共通で学ぶ機会を設けています。研修テーマに関しては、日々の課題を職員から集約し、優先度が高く必要性のある内容を取り上げています。正規職員は外部研修にも参加し、知識・技術を身に付け、研修受講後は会議で発表し、</li> </ul>



資料は回覧を行い、全職員で共有化を図り、保育の実践につなげています。研修内容は、年度末に検討、見直しを図り、次期の研修に反映させています。

●非常勤職員の配置や業務内容については、正規職員との組み合わせを考慮して決定し、保育マニュアルを配布し、必要な知識・情報を提供し、正規職員の指導責任者の下、コミュニケーションを図りながら円滑に保育を進めています。また、非常勤職員に対しての勉強会を実施し、保育マニュアルの読み合わせ等を行い、資質向上に努めています。

## V-2 職員の技術の向上



●年度末に横浜市作成の保育所の自己評価を実施しています。毎月クラス会議の中で個々の保育を振り返り、年度末に自己評価の反省および、改善を行っています。職員の技術指導については、会議等で良いサービスの事例を挙げて勉強会を行い、外部の技術指導ではリトミック、体操、英語、サントレ（言葉の教育）の講師を招き、職員も指導を受けています。



●職員の自己評価は、横浜市作成の保育士の自己評価、自己の振り返りを年度末に実施しています。自己評価は、年間保育計画に沿って振り返り、子どもの活動内容、結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程等を大切にしてい、業務改善やその後の計画作成に反映させています。園全体の振り返りは年間、月間の指導計画に評価と反省を記載する欄を設け、職員一人一人が自身の保育の振り返りがしっかり行えるように工夫しています。

●保育所の自己評価については、保育所の理念や保育の方針、保育課程に沿い、年度始めの全体会議で、職員の自己評価の結果を基に今後の課題等を話し合い、結果は主任がまとめて職員に示し、保育に生かしています。保育所としての自己評価は、玄関に開示しています。今年度、第三者評価を受審し、園の課題、改善に向けて取り組んでいきます。

## V-3 職員のモチベーション維持



●考課の基準に、習熟度に応じた期待水準の目安を示し、職員個々の得意・不得意分野を考慮し、各職員に合った業務ができるよう配慮し、役割分担表に反映させています。各クラスリーダー、乳児・幼児リーダー等も年功、能力、習熟度に応じて定めています。職員と自己評価を中心に面接を行い、個々の目標を共有し、達成状況等の意見交換を図り、評価により昇格・昇給・賞与に連動させています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員の守るべき法・規範・倫理等は、保育マニュアル、就業規則に明示され、職員は守るべき倫理を遵守しています。経営、運営状況等の情報は、ホームページ等で一部開示しています。リスクマネジメントについては、会議で他施設の事例等について検討および周知し、守るべき規範について再確認しています。</li> <li>●環境整備では、横浜市の3S夢(スリム)政策に賛同し、分別、ゴミの減量、節電を心がけ、花壇や野菜栽培による緑化促進、地域のゴミ集積場の提供等を行っています。保育では、包装紙や廃材を使用した活動を行う等、リサイクルの意識を高め、園全体で環境への取り組みを行っています。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●理念・基本方針はマニュアルに明文化し、園内に掲示して保護者等が常に目に触れるようにしています。職員に対しては、年度の始めに読み合わせを行い、職員には理念を尋ねて個々に答えられるよう意識統一に努めています。</li> <li>●重要な意思決定については、保護者懇談会を開催して目的・決定(変更)理由、経過等を十分に説明しています。通常の変更に係わる決定については、文書や園だより等で伝え、必要に応じて園長は直接、保護者に伝えるよう配慮しています。また、園長は、保護者と意見交換をしやすい園の雰囲気作りを心掛け、懇談会やふれあい会でも保護者(各クラスの代表)に行事等の感想を聞き、より良い園作りに尽力しています。</li> <li>●職員は、業務の状況、進捗を都度、主任に報告する体制作りを実施し、職員個々の業務内容を主任・副主任が把握し、連携を図り、円滑な業務につなげています。法人と共にスーパーバイズができる次期リーダーの育成に努めています。主任および副主任は、職員の業務状況を把握し、個々の精神面、肉体系面に配慮して調整、ヘルプを行い、職員一人一人の能力や経験に応じて助言や指導を行う等、まとめ役およびパイプ役となっています。</li> </ul>
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育事業の展開に関しては基本的に法人本部(保育事業部)ですが、園の運営面に直接影響のある取り組みでは、管理職で話し合いをした上で、職員に周知しています。日々、メディア、区役所、横浜市からの情報は書面にてファイルして情報収集を行い、必要に応じて全体会議で共有を図っています。地域の情報は法人の園長会議でも伝えています。</li> </ul>

●法人で、中・長期的計画が策定され、組織運営、事業拡大に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討しています。法人は、人材の確保・新人職員、教育、即戦力なる職員の異動等、次代を担う職員の研修等を行い、育成に努めています。外部の機関や専門家などのアドバイスでは、英語、体操、リトミック、サントレの外部専門講師を取り入れ、法人顧問弁護士、NPO法人りんぐりんく（アドバイザー）等から指導・助言を受けより良い園運営に生かしています。

29年度 福祉サービス第三者評価 利用者（本人）調査結果報告書

クオリスキッズ港南中央保育園

(株)R-CORPORATION

●調査日程	観察調査	平成 29 年 4 月 5 日・4 月 6 日
●保育観察	クオリスキッズ港南中央保育園の子どもと保育士とのかかわり、保育環境を調査員 2 名で観察しました。全クラスの視察、観察を行い、生活観察を通して午睡の様子、遊びを観察継続する中、食事での同席（年長児）や、保育士のかかわり方、各年齢児の様子観察を行いました。各年齢については 1 日の保育活動での観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。	

■0 歳～5 歳の子どもの様子

クラス（年齢）	保育の様子・子どもの様子
0 歳児	乳児の保育室は園舎の 2 階に設けられ、玄関から先の階段を上がると、廊下に沿って中央の部屋が 0 歳児（つくし組）の保育室になっています。乳児用トイレ、沐浴室、調乳室は 1 歳児の部屋の間設備されています。2 階には屋外遊戯場があり、0 歳児、1 歳児はウッドデッキを通過して遊戯場に行けるように配置されています。ウッドデッキ共に、乳児が安全に遊べるように設備されています。夏にはウッドデッキにプールを設置して水遊びをして遊べるスペースになっています。0 歳児は定員が 6 名であり、保育士の手厚い保育と、保育室も寝食のスペースを別々に確保して、子どもたちは安心して快適に過ごしています。朝のおやつは麦茶が提供され、水分補給を受け、子どもたちはおいしそうに飲んでいました。
1 歳児	1 歳児（たんぽぽ組）の保育室は、階段を上がって左側が保育室となっており、保育室の形状は台形に設計され、3つのスペースに分けて月齢別に保育ができるように工夫されています。1 歳児の保育室からはウッドデッキを通過して屋外遊戯場に行くことができ、ウッドデッキでも遊んでいます。1 歳児の保育室は、18 時以降の合同保育の部屋として活用されていました。調査当日は、1 歳児はウッドデッキに出て、フラフープやボール遊びを保育士と一緒に楽しそうに遊んでいました。給食の時間前には 0 歳児と一緒に遊び、給食では保育士に声をかけられながらそれぞれの子どものペースでゆったりと食事時間を過ごしていました。

<p><b>2 歳児</b></p>	<p>2 歳児（ちゅーりっぷ組）の保育室は、2 階の廊下の突き当たりに設けられています。保育室前に屋外遊戯場があるので、0 歳児、1 歳児の部屋から1 段北に下がった部屋ですが、屋外遊戯場側はガラス張りになっており、南向きで陽光は十分に入り、暖かな春の日差しが入っています。屋外遊戯場での遊びでは、ちゅーりっぷ組が最上級生であり、0 歳児、1 歳児の子どもは2 歳児から見たら少し優位の気分で専用の園庭として自由に遊んでいます。調査当日（5 日）の午前中は、保育室内でリズム遊びをしてから屋外遊戯場に出て遊び、子どもたちは体をいっぱい動かして、伸び伸びと楽しそうに遊んでいました。</p>
<p><b>3 歳児</b></p>	<p>1 階は幼児の保育室が設けられ、玄関を入れて右奥に、手前から3 歳児（すみれ組）保育室、4 歳児、5 歳児の順に保育室があります。大きな部屋にパーテーションで仕切り、ほぼ同じ大きさで各保育室作りが成されています。3 歳～5 歳児の保育室はパーテーションを外すと大きなホールになり、様々に活用されています。廊下の突き当たり右は厨房になっており、その手前に食堂ホールが設けられ、子どもたちはクラスで給食を摂っています。食堂ホールでは食事の搬入出や、行事や保育の準備なども行って行っていました。調査当日の朝は、幼児クラス全体で「朝の集会」が行われており、保育士が子どもたちに日にち、曜日の確認を投げかけ、子どもたちは答えています。保育士が「すみれ組の〇〇ちゃ〜ん」と出席を取ったり、話を聴く際の姿勢の話をして子どもたちは先生（保育士）の目を見て集中して聴いています。また、皆で4 月の歌（今月の歌）を歌い、4 月の歌の「さんぽ」、「虹の向こうに」を軽やかに、ハミングも交えて楽しく歌って行っていました。歌の後は、保育士が紙芝居を行い、子どもたちは興味深く聞き、紙芝居を楽しんで行っていました。その後は、リトミックを行い、リトミックを終えて午前中最後の活動の散歩に出かけました。園の近くの大岡川では鯉を見て、大岡公園での満開の桜を觀賞し、たくさん午前中の活動を終えて楽しみの給食に、子どもたちはおいしく給食を食べ行っていました。</p>
<p><b>4 歳児</b></p>	<p>4 歳児（さくら組）も「朝の集会」に参加し、保育士が子ども一人一人の出席を確認し、子どもたちは大きな声で「ハイ！」と元気いっぱい返事ができています。その後、5 歳児と一緒に近隣へ散歩に出かけました。園の裏にある急な山道を登ると、桜色に染まった桜道が広がり、季節の恩恵に散歩も楽しみが加わります。歩き始めると、子どもたちが「一緒に行くの？」、「どうして一緒に行くの？」など調査者に質問し、同行する調査者への興味と不思議だったようです。桜道はその名の通り満開の桜並木で、小学校は入学式を行っており、大きくなったら小学生になる意識に触れる機会になったようです。調査日のために散歩を設定していただいた配慮を受け、地域の風景に触れ、子どもたちの豊かな表情や、子どもたちがいろいろな話をしてくれて、子どもに直接触れることができた有意義な時間でした。</p>

## 5 歳児

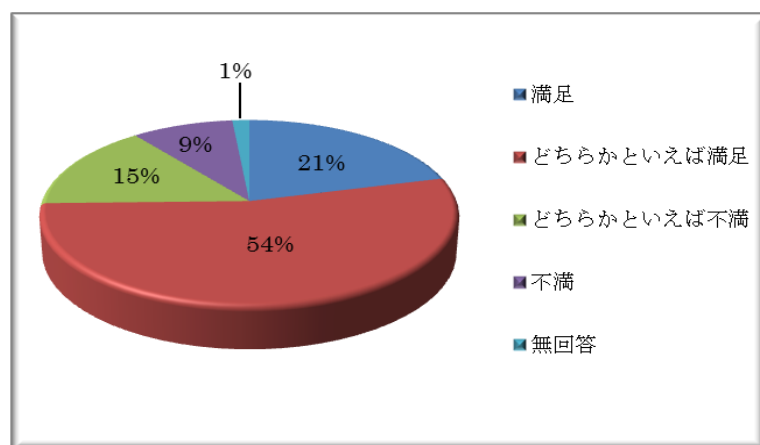
5 歳児（ばら組）も「朝の集会」に参加し、集会後は 4 歳児と一緒に散歩を楽しみました。園の裏から南台小学校まで歩き、この小学校に来年入学する子どももいて、入学式を見て 5 歳児の子どもたちはどのように感じたでしょうか。じっと見ている子どもを見て、保育士や調査者が反対に子どもの気持を感傷的に感じる場面もありました。小学校へは防災訓練の避難場所にもなっており、日頃も訓練の際には訪れており、身近な場所になっています。小学校から横浜刑務所の方面に下りると、風が強く吹き上げ、子どもたちは「キャー！」と賑やかにそれぞれが叫び、楽しそうに園に戻る一幕もありました。子どもたちは交通のルールを守り、手をつないで道端の草花、季節を感じながら楽しく散歩を終えました。園に戻ってからは楽しみの給食をいただき、おいしそうに食事をしていました。ばら組（5 歳児）の保育室の壁には三色食品群のボードが設置され、自然と目にし、給食での食材への興味につなげていました。自由時間では、友達と仲良く遊具で遊び、それぞれ思い思いに遊びに集中して、安心して安定した園生活を送っていました。

## 【クオリスキッズ港南中央保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	29年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配布世帯数（世帯数 73）
有効回答数	67 世帯
世帯総数に対する回答者割合（%）	92%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
6 世帯	14 世帯	15 世帯	13 世帯	12 世帯	7 世帯

\*回答があった利用者満足度の内訳（%）



●利用者アンケートの特徴として、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、ほぼ満足という）見ると、日常の保育内容についての「生活」面での項目が、比較的高い満足度を示しています。特に、『満足』が1番高い項目として「給食の献立内容について」が挙がっています。満足では72%、どちらかといえば満足21%であり、どちらかといえば不満5%、不満3%ありますが、ほぼ満足として93%を示しています。また、「お子さんが給食を楽しんでいるか」については、満足69%、どちらかといえば満足28%、その他3%にて、ほぼ満足は97%を得ています。「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」についても、満足59%、どちらかといえば満足36%、どちらかといえば不満3%、その他3%であり、ほぼ満足は95%となっています。他、「満足」において50%以上の項目では、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」（59%）、「お子さんの体調への気配りについて」（54%）が挙げられます。

●アンケート自由記述からは、保育士が親身であり、安心して預けられるという声や、保育士が子どもを大切にしているのが伝わる、という意見をいただいております、相談等の対応にも丁寧に助言等ももらっていること等、喜びの声も挙がっています。

●『不満』および、満足の比較的低い項目では、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明について」が、満足28%、どちらかといえば満足31%、どちらかといえば不満は21%、不満13%、その他3%、無回答5%であり、全項目の中でほぼ満足は59%、どちらかといえば不満、不満を合わせて（以下、「おおむね不満」という）は34%となっており、比較的アンケート自由意見からも意見がでてくる項目となっています。また、「自然に触れたり、地域に係るなどの園外活動について」では、満足

31%、どちらかといえば満足 36%、どちらかといえば不満 18%、不満 10%、無回答 5%であり、ほぼ満足は 67%ですが、おおむね不満では 28%となっています。「施設設備について」では、満足 18%、どちらかといえば満足 51%、どちらかといえば不満 15%、不満 10%、その他 5%という結果になっています。さらに、「園の目標や方針についての説明」については、満足 18%、どちらかといえば満足 59%、どちらかといえば不満 10%、不満 3%、その他 10%となっており、施設設備についてと同様、「満足」が全項目の中では低い割合となっています。「園の保育目標・保育方針をご存知ですか」の設問についても「よく知っている」では 8%という結果であったこととつながる結果がうかがえます。園では、理念、保育方針をしっかりと掲げ、保育内容と連動して実施し、サービスを提供しているにあたり、利用者アンケートの結果を捉え、サービス提供の振り返りと共に、保護者への周知・理解の促し等について、一考を期待しています。

●アンケートの主な意見では、保育士の入れ替わりの連絡や保育士の表示について、園からの連絡方法の工夫、保育士の伝達・連携についての要望、外遊びの要望、兄弟に関する病欠の際の登園について、寄付に関する提案などの意見が目立ち、説明等に関しては園から周知されていると思いますが、不満、意見、要望等について受け止め、理解や協力につなげられるよう努力を期待いたします。多々、保護者からの意見を基に、振り返りと見直しをする機会を設け、園の良い点をさらに生かし、保護者のより満足・安心につながる保育の継続を期待しております。

●総合的に、『満足』は 38%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は 49%、『どちらかといえば不満』10%、『不満』3%であり、サービスの提供について、87%『ほぼ満足』していると、捉えることができます。



利用者調査項目（アンケート）

**クオリティキッズ港南中央保育園**

【保育園の基本理念や基本方針について】

上段%、下段人数で示しています

問 1

利用者調査項目		よく知って いる	まあ知っ ている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	18%	63%	9%	9%	1%	0%
		12	42	6	6	1	0
		賛同でき る	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	18%	46%	15%	1%	1%	18%
		12	31	10	1	1	12

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	31%	39%	6%	6%	18%	0%
		21	26	4	4	12	0
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	30%	43%	9%	12%	6%	0%
		20	29	6	8	4	0
5	園の目標や方針についての説明には	22%	58%	12%	6%	0%	1%
		15	39	8	4	0	1
6	入園時の面接で、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	30%	57%	4%	4%	4%	0%
		20	38	3	3	3	0
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	27%	55%	10%	3%	4%	0%
		18	37	7	2	3	0
8	費用やきまりに関する説明については	30%	43%	12%	7%	7%	0%
		20	29	8	5	5	0

問 3 保育園に関する年間の計画について

9	年間の保育や行事についての説明は	28%	60%	4%	4%	1%	1%
		19	40	3	3	1	1
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	12%	45%	13%	18%	10%	1%
		8	30	9	12	7	1

#### 問 4 日常の保育内容について

##### 「遊び」について

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	40%	31%	15%	7%	4%	1%
		27	21	10	5	3	1
12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	40%	31%	15%	7%	4%	1%
		27	21	10	5	3	1
13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に 使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	37%	43%	9%	4%	4%	1%
		25	29	6	3	3	1
14	自然に触れたり地域に係わるなどの、園外活動に ついては	37%	33%	18%	9%	1%	1%
		25	22	12	6	1	1
15	遊びを通じた友達との関わりや、保育士との関係に ついては	31%	55%	9%	1%	1%	1%
		21	37	6	1	1	1
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みにつ いては	36%	42%	12%	6%	3%	1%
		24	28	8	4	2	1

##### 「生活」について

17	給食の献立内容については	52%	43%	3%	0%	1%	0%
		35	29	2	0	1	0
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	52%	39%	4%	1%	3%	0%
		35	26	3	1	2	0
19	基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自 立に向けての取り組みについては	52%	42%	4%	0%	1%	0%
		35	28	3	0	1	0
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されて いるかなどについては	40%	42%	7%	6%	3%	1%
		27	28	5	4	2	1
21	おむつはずしは、家庭と協力しお子さんの成長に合 わせて柔軟に進めているかについては	40%	37%	6%	3%	12%	1%
		27	25	4	2	8	1
22	お子さんの体調への気配りについては	49%	43%	6%	1%	0%	0%
		33	29	4	1	0	0
23	保育中にあったケガに関する保育者への説明やそ の後の対応には	48%	40%	7%	3%	1%	0%
		32	27	5	2	1	0

##### 問 5 保育園の快適さや安全対策については

24	施設設備については	49%	40%	1%	6%	3%	0%
		33	27	1	4	2	0
25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気については	48%	40%	7%	4%	0%	0%
		32	27	5	3	0	0

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
26	外部からの不審者侵入に対する備えについては	42%	43%	12%	1%	1%	0%
		28	29	8	1	1	0
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	51%	45%	4%	0%	0%	0%
		34	30	3	0	0	0

#### 問6 園と保護者との連携・交流について

28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	19%	51%	18%	6%	3%	3%
		13	34	12	4	2	2
29	園便りや掲示などによる園の様子や行事に関する情報提供については	45%	34%	16%	1%	1%	1%
		30	23	11	1	1	1
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	34%	45%	10%	7%	1%	1%
		23	30	7	5	1	1
31	送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	33%	40%	18%	4%	1%	3%
		22	27	12	3	1	2
32	お子さんの関する重要な情報に連絡体制については	36%	39%	18%	3%	3%	1%
		24	26	12	2	2	1
33	保護者からの相談事への対応には	27%	46%	10%	10%	3%	3%
		18	31	7	7	2	2
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	23%	37%	12%	15%	11%	2%
		15	24	8	10	7	1

#### 問7 職員の対応について

35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	43%	45%	6%	1%	3%	1%
		29	30	4	1	2	1
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	45%	48%	3%	3%	0%	1%
		30	32	2	2	0	1
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	36%	40%	1%	4%	15%	3%
		24	27	1	3	10	2
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	37%	39%	12%	9%	1%	1%
		25	26	8	6	1	1
39	意見や要望への対応については	24%	37%	19%	16%	1%	1%
		16	25	13	11	1	1

#### 問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	21%	54%	15%	9%	1%
		14	36	10	6	1

# 保護者アンケート調査結果 (設問別「満足度」 総合)

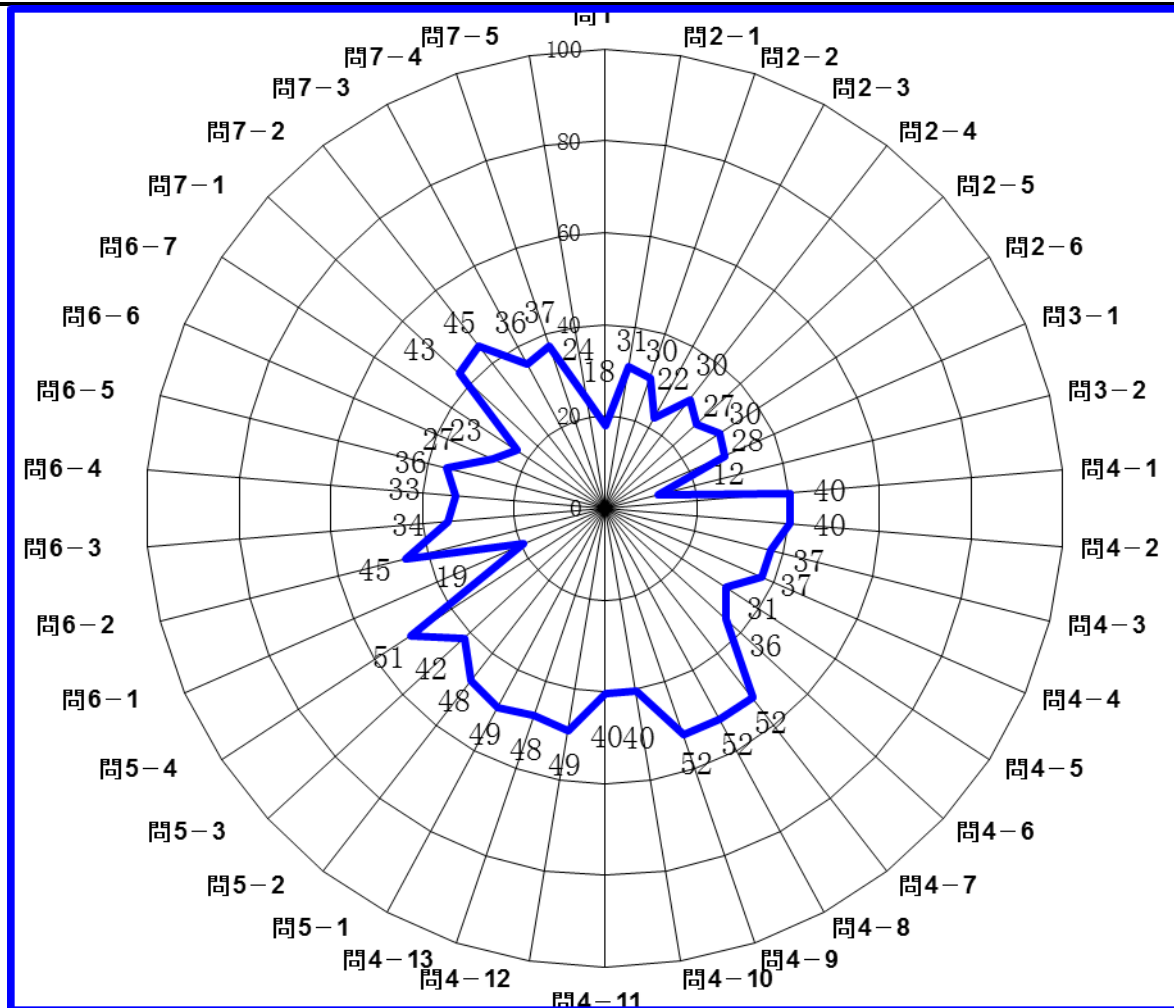
(注) レーダー数値は設問別「満足度」回答率 (小数点以下は四捨五入)

調査対象園舎: クオリスキッズ港南中央保育園 横浜市港南区港南 5-2-9

回答世帯数: 73 世帯中 67 世帯 <0 歳児(6 世帯)、1 歳児(14 世帯)、2 歳児(15 世帯)、3 歳児(13 世帯)、4 歳児(12 世帯)、5 歳児(7 世帯)>

定 員 : 90 名

調査期間: 2017/02/27 ~ 2017/04/06



## 事業者コメント

クオリスキッズ港南中央保育園  
園長 会田 範子

### <評価に取り組んだ感想>

今回、第三者評価を受審したことで、園の運営や保育全般について職員全体で振り返ることができ、その中で改めて園の良さや改善点などの課題が明確になりました。

年度初めの限られた時間内での自己評価の取り組みは大変でしたが、保護者の方々にもアンケートにご協力いただき、職員も事前に自己評価を行い、取り組むことができました。

職員の一人一人が、自分自身の保育や子どもとの向き合い方を改めて見つめ直す機会として、また、利用者の方々の園に対する様々なご意見もいただき、利用者の方々の思いも知ることができました。

### <評価後取り組んだこととして>

職員全体で把握しておくべきことは、管理側から全体へ周知するよう取り組んできたつもりでしたが、行き届いてないこともあったことを知り、保育マニュアル等を再度読み合わせをし、全体周知に努めました。

今年度より、食育の一環として野菜の栽培・収穫の体験をより多く取り入れ、食育活動を充実させています。また、子どもたちがさらに楽しんで食事ができるよう、バイキング形式の食事を設定したり、工夫をしています。

また、保育の地域をより深めるため、外部での研修に積極的に参加したり、園内研修の充実を図るようにしています。

今年度より、町内会で予定されている行事にも、園児にとって無理のない範囲で参加し、近隣からのクレームに対応しながら、地域交流を図っていければ、と考えております。